

## 第 38 回あいち学童保育研究集会レポート

【クラブ】（ たけのこクラブ ） 【名前】（ 岩井里真 ） 【立場】（ 指導員 ）

① 午後に参加した分科会の名称をお書きください。

第（ 1 ）分科会 名称（ 学童保育とは ）

※午前の全体会のみに参加した場合は、全体会講演の名称をお書きください。

②全体会講演や分科会に参加して、心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

私は学童保育に携わりまだ 1 年未満です。「学童保育とは」について様々な講師の方の講義を聞き、知りたいと思った為この分科会を選びました。これまでも、他の講師の方の講義に参加しましたが今回は指導員経験のない大学の教授からの講義という事もあり、少し違う視点からの「学童保育とは」を学ぶ事が出来たように感じました。設置・運営主体別実施状況やその設置場所、登録児童数等の数値をグラフで分かりやすく見ることができ現在の学童保育と、学童保育というものが必要とされるようになった頃の学童保育のあり方との違いを感じることができました。

共働き家庭が多くなり『鍵っ子』と言われる子が増えた頃をきっかけに、学童保育は盛んになってきたと思います。当時がどのような雰囲気だったかは分かりませんが、今より保護者と学童は密接で一緒に保育、子育てをするといった風潮があったのではないかと思います。その為“遊び”に重点を置いた保育ができていたのではないかと勝手に思っていますが、現在は、“宿題をしっかりとやらせてほしい”や“塾の送り迎えをさせてほしい”などと保護者のニーズが増え、本来の理想である『学童保育』が難しくなっている様に感じられます。また、コロナ禍の今テレワークも増え保護者が家庭に居ることが増えた家庭も多くあると思います。一個人の思いとしては、「家族と過ごす」という時間を一番に大切に、保護者が家庭に居るのであれば子どもも一緒に家庭で勉強をしたり、遊んだりすることが望ましいと思っています。しかし、自宅が職場になっているだけで仕事をしている事には変わりありません。その為、子どもが家に居ることは仕事の邪魔になってしまうのだろうかと思うと預ける理由も分からなくはないですが、本当に学童を必要とする子ども達が必要な時に通える場所である方が良いのではないかなとも思ってしまいました。学童保育とは一概に何が正解で何が良いことなのか知れば知るほど、関われば関わるほど深さを感じ分からなくなってしまいました。こういったことも踏まえ、今回改めて知った国立民営の学童保育（ビジネスとして子どもを預かっている所）について興味がわいたのでもう少し知りたいと思いました。

しかし何より、分からなくとも分からないなりに自己研鑽し今いる子ども達にとってより良い場所となるよう努めていかなければならないですし、そう出来る指導員になりたいと感じました。子どもたちのことを第一に考えられる指導員を目指したいです。